



あいち青少年赤十字

No.139
令和5年11月発行

日本赤十字社愛知県支部
〒461-8561 名古屋市東区白鷺一丁目50番地
TEL(052) 971-1599 FAX(052) 971-1590
ホームページアドレス https://www.jrc.or.jp/chapter/aichi/

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

一緒に考えよう ～今わたしたちができることを～



気づくことの大切さ

名古屋市長津賀田中学校 2年 大藪 知花

津賀田中学校生徒会では「津賀田 de エール」プロジェクトを行いました。周りの人への感謝の気持ちをカードに記入し、掲示しました。カードを通して皆が交流でき、周りの友だちのよさを発見するよい機会になりました。これは青少年赤十字の「気づき・考え・実行する」という行動目標が表れたものです。行動を起こすには「気づき」が必要なので、日頃から周りの状況をよく見て、考えながら行動したいと思っています。



〈「津賀田 de エール」ポスター〉

哲学対話

犬山市立犬山中学校 2年生 奥村 希海

生徒自治会では様々なテーマについて問いを出し合い、話を深める哲学対話を行っています。何事にも深く、根本まで、考えを掘り下げることが目指しています。参加は自由で、学年を問わず意見交流を行っています。様々な意見が聞けて、考えが広がっていきます。時間が来たら終了で、しゃべらなくてもいい、何を話してもいい、傷つけることは言わないという約束も大切にしています。一人のときに考えていたお題がでたこともあり、やはりみんなと話す自分だけの思いよりも、視点広がります。これからも続けていきたいと思っています。



〈みんなで円になって対話しています〉

世界中の子どもたちを笑顔に

弥富市立十四山東部小学校 6年 岡戸 星那

私の学校では、資源回収に取り組んでいます。世界中の、学校に通えない子どもたちを助けたいと思うからです。資源回収で集めたアルミ缶やペットボトルキャップは再利用され、教科書や鉛筆を購入する資金になり、子ども達の助けになります。私は、この活動を通して、十四山東部小学校の皆に世界中の子どもたちを助ける気持ちをもってほしいと思います。これからもこの活動を続け、世界中の子どもたちを笑顔にしたいです。



〈資源回収〉

私たちの手で運動会を！

豊橋市立大村小学校 6年 牧野 凜

大村小学校では、運動会で、ソーラン節を踊るかどうかを話し合いました。学級で「学校の伝統を引き継ぎたい」「見に来てくれた人に最高のパフォーマンスを届けたい」などの意見が出て、踊ることになりました。5年生にはこれからも伝統として受け継いでいってほしいです。5・6年の競技もルール決めから自分たちで行い、満足のいく結果を得ることができました。これからも、学校のために何ができるかを考え、実行していきたいです。



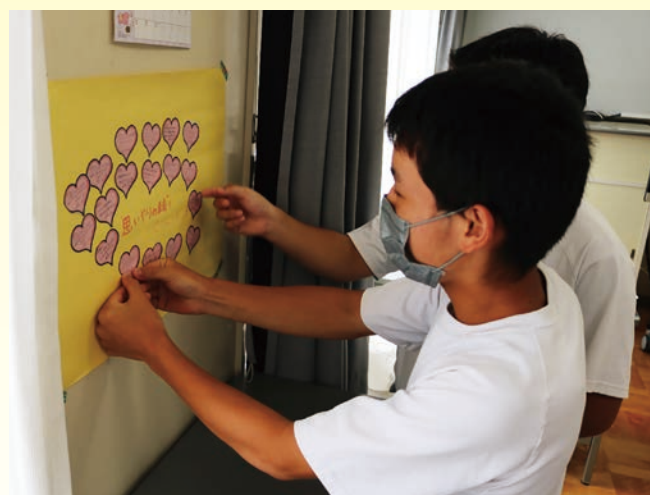
〈ソーラン節の様子〉



思いやりの輪

岡崎市立常磐中学校 2年 鈴木 伊織

僕は、「思いやりの輪を広げよう」と題し、一人一人が思いやりを伝える場をつくる活動を行いました。この活動を通して気付いたことは、「ありがとう」と伝えることの大切さです。普段は気付けない誰かの思いやりを察し、「ありがとう」を伝えることは難しいことでもあります。しかし、そこで気付いて察し、感謝の気持ちを伝えることで、自分も相手も温かい気持ちになるとともに、より学級間の仲も深まるということを実感しました。



〈「思いやりの輪」を広げている様子〉

視野を広げ住みやすい街へ

刈谷市立刈谷南中学校 1年 花岡 杜磨

福祉実践教室で、実際に障がいをもっている方々に、生活をする上で不便なところを教えていただきました。そこで学んだ知識や、刈谷市の現状をもとに、誰もが住みやすい街にするためには何が必要かをグループでまとめ、社会福祉協議会の方と障がい者のみなさんと意見交流をしました。普段の生活の中で困っている人に気づき、その人に対して実際に行動することが、僕たちにできることだと分かりました。これからも視野を広くもって生活したいです。



〈意見交流の様子〉

もっといい町へ

豊田市立駒場小学校 5年 清水 和香

赤十字の活動で、ワークショップを行いました。私は、自分が住んでいるところをもっときれいな町にするために、学区内のごみ拾い活動について考えました。まず自分で学区のごみ拾いをしてみました。その時にさまざまなごみが落ちていることに気づきました。これから、学校のみんなにもごみが落ちていたら拾うように伝えたいと思いました。自分で問題を見つけ、話したり、考えたりする活動は、これからも増えていくと思います。私が体験したことをこれからも役立てたいです



〈ワークショップの様子〉

思いをカタチに

愛知みずほ大学瑞穂高等学校 3年 鏡味 ゆい

本校JRC部は生徒会と協力し、2023年2月6日に起きたトルコ・シリア地震の救援金募金活動を2月末から3月20日までの期間行いました。生徒の皆さんや先生方から、被災地を救いたいという声を募金とともにいただき、皆さんの思いをカタチにして届ける活動ができました。JRC部では今後も募金を含む様々な慈善活動に取り組んでいく予定です。



〈登下校時の活動の様子〉

支部通信

気づき・考え・実行する
青少年赤十字



〈名古屋港水族館のメインプール前〉

モンゴルの青少年赤十字メンバーとの国際交流（前半）

愛知県支部の青少年赤十字は、2007年度からモンゴル赤十字社の青少年赤十字と国際交流を行っています。今年度は7月12日～19日の8日間、モンゴルの青少年赤十字メンバー7名と指導者1名が日本を訪れました。今回は、日程前半の国際交流の様子を写真で紹介します。

【前半の主な日程】

○7月13日

・日赤愛知県支部訪問 → 小学生との交流 → 日赤愛知災害管理センター棟見学

○7月14日

・熱田神宮参拝 → 名古屋港水族館見学 → 中部電力ミライタワー見学



〈日赤愛知県支部の訪問〉



〈小学校での歓迎会〉



〈日赤愛知災害管理センター棟の災害対策本部〉



〈熱田神宮の絵馬かけどころ〉



〈中部電力ミライタワーと大相撲のぼり〉